

2021年9月定例会について

2021年10月20日 日本共産党宇治市会議員団

宇治市議会9月定例会は、9月16日から10月12日の会期で行われ、「新型コロナ」対策として2億9900万円、「(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業(設計委託)」に係る「債務負担行為設定」に2億8000万円などの補正予算案が提案されました。日本共産党宇治市会議員団は、「新型コロナ」禍のもと、市民の暮らしや生業を守るため論戦をしました。

①「新型コロナ」ワクチン接種を10月以降も続けるための事業費約3億円の補正予算案が、緊急を要すると開会日に提案され、即日、議決が行われました。

「新型コロナ」ワクチン接種については、12月定例会で2045万円、3月定例会で3億6277万円の計3億8千万円が可決されています。いずれも「緊急を要する」と「一般競争入札」ではなく「随意契約」で、コールセンター設置等を約2億円、集団接種会場運営等を約1億5千万円で、(株)JTBに委託しています。

党議員は、「コールセンターや集団接種会場運営などの契約は、9月30日までと契約当初から分かっていた。9月16日になって、10月からの契約をしなければならぬので緊急を要するとは問題だ」「昨年度、『緊急を要する』との理由の随意契約が約100件あるが、その半数がコロナ対策だ。中には学校のシューズボックスや傘立ての購入もあるが、問題ではないか」と追及。総務部長は「契約は適切であると考えている。今後は、競争入札によることができない緊急性など随意契約に該当することをより慎重に確認し、適切な対応に努める」答弁しました。

注：端数切捨て。いずれも2021年。

	予算額	可決日	契約日	契約金額	契約内容
20年12月定例会	2045万円	1月20日			
21年3月定例会	3億6277万円	2月25日	2月25日	1億677万円	コールセンター
			4月21日	9336万円	集団接種会場運営等
			5月19日	8851万円	コールセンター
			6月10日	5340万円	文化センター会場追加
			8月25日	1633万円	市役所での土曜日接種会場追加
21年9月定例会	2億6000万円	9月16日	9月30日	4249万円	コールセンター
			9月30日	6002万円	集団接種会場運営等
計	6億4322万円			4億6088万円	

② 松村市長は、8月31日に記者会見で、「西小倉地域の西小倉小、北小倉小、南小倉小と西小倉中を統廃合し、西小倉中学校に小中一貫校を2026年4月目途に開校する」「開校時の児童生徒数は950人、31学級、第2グラウンドはつくりたくない。グラウンドは、現在の13,000㎡を確保する」と発表しました。

党議員は、「開校予定の2026年度は、1年生だけで2年後には3年生までとなる。31学級とのことだが、現在の西小倉中学校は普通教室は19教室で、グラウンドが13,000㎡だ。普通教室が1.5倍、給食室をつくり、育成学級の教室、

プールをつくったら校舎の延床面積も今より大きくなる。同じ敷地なら、当然、グラウンドは狭くなる。そうしたことについての説明もなく、設計をするのは乱暴だ」と厳しく追及し、予算の削除を求めました。

市教委は、西小倉自治連合会に、「協議会」の設置を要請し、今年2月に「西小倉地域小中一貫校開設準備協議会」が立ち上がり、この間、4回にわたり開催され、開校場所については協議中にもかかわらず、市長が、突然、「西小倉中で開校する」との発表は、あまりにも地元を無視するもので、地元の自治連合会から抗議の声が上がりました。

③ 議会軽視、市民無視の市政運営が顕著になってきています。

近鉄小倉駅西口の商業ビル跡地に民間事業者から開発計画がだされ、党議員団は、市が買収し駅前広場に整備するように求めていました。今年度、市は約4億円で買収しました。6月定例会で駅前広場に整備を求めましたが、近鉄小倉駅の地下通路のバリアフリー化等について、「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会」で検討中なので、その中で検討したいと答弁していました。

ところが、買収した土地の南半分は、現在の近鉄小倉駅西第1駐輪場(駐車台数は624台)、第2駐輪場(駐車台数193台)を建て替えて、新たに駐輪予定台数は自転車230台、バイク30台、構造は鉄骨3階建、敷地面積は378㎡の新たな駐輪場の整備の設計を発注していることが判明しました。党議員が、駐車台数が3分の1になるにもかかわらず、所管の委員会にも報告もしていないことを追及すると、都市整備部長は「すでに自転車等駐輪場整備実施計画(2019年度～2028年度)に、近鉄小倉駅の駐輪場については、施設規模の見直しを検討・実施すると決めてある」と答弁しました。

また、8月豪雨で井川沿いの府道の歩道部分が崩落し、歩行ができなくなる事故が発生しました。事故後、党議員が報告を求めても、名木川の管理は京都府で、府から報告がないと報告もしませんでした。(後日、党議員の追及で報告)

「お茶と宇治のまち歴史公園」の開園についても、7月16日に予定をしていた所管の委員会は報告すべき事がないと委員会の開催を中止していました。7月12日に突然、市長が記者会見をし8月21日に開園すると発表しました。

これまで、6月定例会中に議会に前年度の決算概要を報告していましたが、今年度は報告がなく、市長が記者会見で公表しました。党議員がそのことを追及すると、副市長は「決算は、市長の行った総括であり、市長が直接、市民に報告することにした」と答弁。松村市政のもとで、これまでの先例を無視する議事を軽視する市政運営が顕著になっていきます。

④ 党議員団は、陳情のあった「沖縄戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないことを求める意見書」及び「気候危機の克服に早急に取り組むことを求める意見書」を提出しましたが、共産党議員団と佐々木議員の賛成少数で否決されました。

日本共産党
宇治市会議員団

2021年10月24日 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内
TEL：0774-22-3141(内線2817)
FAX：0774-24-7884

共産党議員団への
ご意見・ご相談



